

グローバル創薬関連株式ファンド

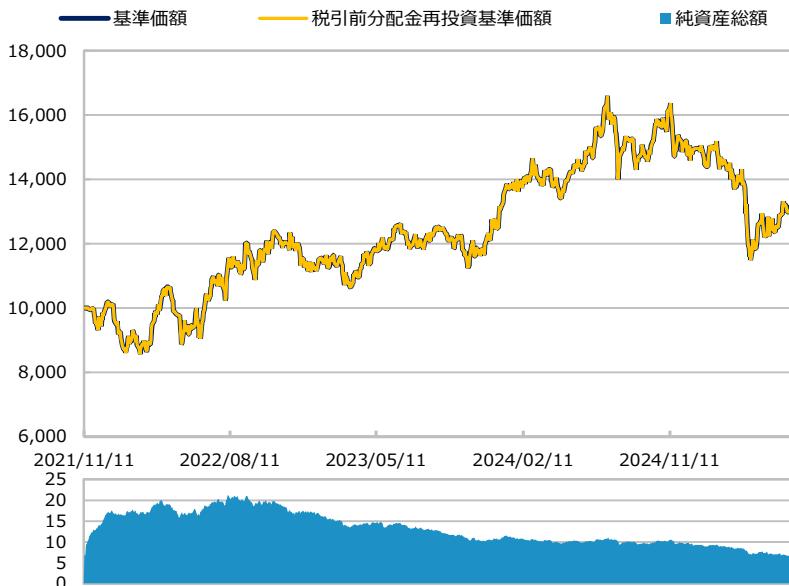
【投信協会商品分類】追加型投信／内外／株式

作成基準日：2025年06月30日

ファンド設定日：2021年11月12日

日経新聞掲載名：グロ創薬株式

基準価額・純資産総額の推移（円・億円）



基準価額・純資産総額

	当月末	前月比
基準価額（円）	13,018	+522
純資産総額（百万円）	668	-32

■ 基準価額は10,000口当たりの金額です。

騰落率（税引前分配金再投資）（%）

	基準日	ファンド
1ヶ月	2025/05/30	4.2
3ヶ月	2025/03/31	-5.5
6ヶ月	2024/12/30	-13.0
1年	2024/06/28	-16.3
3年	2022/06/30	25.4
設定来	2021/11/12	30.2

■ ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。

■ ファンド購入時には購入時手数料、換金時には税金等の費用がかかる場合があります。

■ 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

最近の分配実績（税引前）（円）

期	決算日	分配金
第1期	2022/11/10	0
第2期	2023/11/10	0
第3期	2024/11/11	0
設定来累計		0

※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

資産構成比率（%）

	当月末	前月比
組入投資信託	98.0	-0.5
マネー・ファンド	0.2	+0.0
現金等	1.8	+0.5
合計	100.0	0.0

※ 組入投資信託の正式名称は「カンドリアム・エクイティーズ・L・バイオテクノロジー（Sクラス、円建て）」です。

※ マネー・ファンドの正式名称は「キャッシュ・マネジメント・マザーファンド」です。

運用概況

当月末の基準価額は、13,018円（前月比+522円）となりました。

また、税引前分配金を再投資した場合の月間騰落率は、+4.2%となりました。

※ この資料の各グラフ・表に記載されている数値は、表示桁未満がある場合は四捨五入して表示しています。

※ この資料に記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全てファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



グローバル創薬関連株式ファンド

【投信協会商品分類】追加型投信／内外／株式

作成基準日：2025年06月30日

※ このページは「カンドリアム・エクイティーズ・L・バイオテクノロジー（Sクラス、円建て）」について、カンドリアム・エス・シー・エーから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

資産構成比率 (%)

	当月末	前月比
株式	96.9	+0.4
先物等	0.0	0.0
現金等	3.1	-0.4
合計	100.0	0.0

組入上位5カ国・地域 (%)



組入上位5通貨 (%)



組入上位5業種 (%)



※ 業種はGICS（世界産業分類基準）による分類です。

組入上位10銘柄 (%)

銘柄	国・地域	業種	(組入銘柄数 70)
			比率
1 アルナライム・ファーマシューティカルズ	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	6.0
2 アムジェン	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	6.0
3 バーテックス・ファーマシューティカルズ	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	5.5
4 ギリアド・サイエンシズ	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	5.3
5 リジェネロン・ファーマシューティカルズ	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	4.0
6 インスメッド	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	3.5
7 ニューロクライン・バイオサイエンシズ	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	2.9
8 ビオンテック	ドイツ	医薬品・バイオテクノロジー	2.8
9 ピーワン・メディシンズ	中国	医薬品・バイオテクノロジー	2.7
10 アセンディス・ファーマ	デンマーク	医薬品・バイオテクノロジー	2.6

※ このページに記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全て組入投資信託の純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント Be Active.

グローバル創薬関連株式ファンド

【投信協会商品分類】追加型投信／内外／株式

作成基準日：2025年06月30日

※ このページは「カンドリアム・エクイティーズ・L・バイオテクノロジー（Sクラス、円建て）」について、カンドリアム・エス・シー・エーから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

ファンドマネージャーコメント

<市場動向>

6月の市場は上昇基調となり、バイオテクノロジー株はディフェンシブ（景気変動の影響を受けにくい）な色の強いヘルスケアセクター全体をアウトパフォームしたものの、依然として市場全体には劣る動きとなりました。FDA（米国食品医薬品局）の人事や政策、承認動向に関する概ねポジティブな報道が支援材料となつたほか、後期段階の臨床試験における好結果や一部のM&A（企業の合併・買収）も当セクターを下支えしました。一方で、投資家は引き続き政策リスクも注視しており、米国メディケアの薬価制度に加え、メディケイド価格上限案や消費者向け直接広告の規制強化に関する再議論などが、商業化段階の企業にとってのリスクと評価されました。

ただし、臨床開発の着実な進展とイノベーション促進を志向する規制環境の整備が進んでおり、年初来ではあまり見られなかつたバイオテック分野に対する前向きなムードが醸成されつつあります。

<運用状況>

6月、当ファンドは上昇しました。ブループリント・メディシンズの買収発表をはじめとした事業開発およびM&Aの活発化が目立つ中、インスマッド、アイオニス・ファーマシューティカルズ、アルナイラム・ファーマシューティカルズ、ビオンテックといった銘柄が好パフォーマンスに寄与しました。特にインスマッドは、肺動脈性高血圧症治療用の吸入製剤のフェーズ2で市場予想を上回る結果を発表したこと、今後のフェーズ3に向けた投資家の信頼感を高め、株価が急騰しました。

アイオニス・ファーマシューティカルズはバイオジエンとの提携のもと、脊髄性筋萎縮症向け次世代治療薬のフェーズ1が高い有効性と利便性を提供する可能性を示すと共に、RNA標的治療における同社のリーダーシップを裏付ける展開となりました。アルナイラム・ファーマシューティカルズは、心筋症治療薬の初期販売が市場予想を上回ったことや、欧州における同薬の承認取得を受けて堅調に推移しました。ビオンテックは大手製薬企業との間で二重特異性抗体の共同開発契約を締結し、多様な固形がんを対象とした臨床開発計画を含む高額契約が同社の免疫腫瘍戦略への市場の信認を高める要因となりました。

パフォーマンスへの主なマイナス寄与要因としてはアムジエン、ユナイテッド・セラピューティクス、dain・セラピューティクスが挙げられます。アムジエンは、肥満症治療薬候補のフェーズ2の最終結果において体重減少効果は確認されたものの、消化器系の忍容性に課題があることが判明し圧力を受けました。フェーズ3では投与内容の調整を検討しています。dain・セラピューティクスは、進行性の筋疾患である筋強直性ジストロフィー1型を対象とした治療候補薬がFDAのブレークスルー・セラピー指定を取得したものの、評価項目の変更

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント Be Active.

グローバル創薬関連株式ファンド

【投信協会商品分類】追加型投信／内外／株式

作成基準日：2025年06月30日

※ このページは「カンドリアム・エクイティーズ・L・バイオテクノロジー（Sクラス、円建て）」について、カンドリアム・エス・シー・エーから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

ファンドマネージャーコメント

が承認への道筋の複雑さを示しています。競合のアビディティ・バイオサイエンシズとの対比が意識される展開となった中で、両社の候補薬はいずれも有望な初期有効性を示しており、満たされていない大規模医療ニーズの分野で引き続き可能性を有しています。ユナイテッド・セラピューティクスは、インスマッドの肺動脈性肺高血圧症における良好な臨床結果により競争激化が意識され、株価は下落しました。ユナイテッド・セラピューティクスは、長期改善を目指す次世代治療薬のフェーズ3を継続している状況です。

<見通しと方針>

6月のバイオテクノロジー株の上昇は、イノベーション主導型成長への投資家の関心が再燃していることを反映しています。FDAによる新たな医薬品審査の迅速化制度の導入が規制上の追い風となる中、ブループリント・メディシンズの買収発表に見られるようなM&Aの活発化は、優れた医薬品パイプライン（計画案件）への戦略的関心が継続していることを示しています。ヘルスケアおよびバイオテクノロジーセクターは引き続き人口動態による構造的追い風と科学的進歩によって堅調なファンダメンタルズ（基礎的条件）を維持しています。足元では医薬品関税や薬価に関する政策動向が短期的なボラティリティ（変動性）要因となり得る一方、米大統領による薬価引き下げや関税強化の発言は、グローバルな価格格差是正や国内製造回帰促進を意図した交渉戦略の一環とみられます。即時的に実行される政策とは限らず、バイオ医薬品セクターは政策環境の変化に対応しつつも、その長期的なイノベーション能力と事業基盤の強さは揺るがないと考えられます。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント Be Active.

グローバル創薬関連株式ファンド

【投信協会商品分類】追加型投信／内外／株式

作成基準日：2025年06月30日

ファンドの特色

- 主として、革新的な技術力で医療分野に新たな可能性を生み出していく世界の創薬関連企業の株式に投資を行います。

- ファンド・オブ・ファンズ方式で運用を行います。

- *創薬関連企業とは

当ファンドでは、医薬品の開発を行う創薬企業をはじめとして、遺伝子検査や実験機器などのバイオテクノロジーにかかる企業を指します。創業期など初期のステージにある企業から安定的な成長を確立した企業の株式まで幅広く投資を行います。

- 実質的な運用は、カンドリアム・エス・シー・エーが行います。

- 実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

- 基準価額は為替変動の影響を受けます。

※ 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

投資リスク

基準価額の変動要因

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- 運用の結果として信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。
- 投資信託は預貯金と異なります。また、一定の投資成果を保証するものではありません。
- 当ファンドの主要なリスクは以下の通りです。

■ 株式市場リスク

【株価の下落は、基準価額の下落要因です】

内外の経済動向や株式市場での需給動向等の影響により株式相場が下落した場合、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、個々の株式の価格はその発行企業の事業活動や財務状況等によって変動し、株価が下落した場合はファンドの基準価額が下落する要因となります。

■ 信用リスク

【債務不履行の発生等は、基準価額の下落要因です】

ファンドが投資している有価証券や金融商品において債務不履行が発生あるいは懸念される場合、またはその発行体が経営不安や倒産等に陥った場合には、当該有価証券や金融商品の価格が下がったり、投資資金を回収できなくなったりすることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

■ 為替変動リスク

【円高は基準価額の下落要因です】

外貨建資産への投資は為替変動の影響を受けます。ファンドが保有する外貨建資産の価格が現地通貨ベースで上昇する場合であっても、当該現地通貨が対円で下落する（円高となる）場合、円ベースでの評価額が下落し、基準価額が下落することがあります。

■ カントリーリスク

【投資国の政治・経済等の不安定化は、基準価額の下落要因です】

海外に投資を行う場合には、投資先の国の政治・経済・社会状況の不安定化、取引規制や税制の変更等によって投資した資金の回収が困難になることや、その影響により投資する有価証券等の価格が大きく変動することがあり、基準価額が下落する要因となります。

■ 流動性リスク

【市場規模の縮小・取引量の低下により、不利な条件での取引を余儀なくされることは、基準価額の下落要因です】

有価証券等を大量に売買しなければならない場合、あるいは市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等に、十分な数量の売買ができなかったり、通常よりも不利な価格での取引を余儀なくされることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

グローバル創薬関連株式ファンド

【投信協会商品分類】追加型投信／内外／株式

作成基準日：2025年06月30日

投資リスク

その他の留意点

〔分配金に関する留意事項〕

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
 - 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの收益率を示すものではありません。
 - 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
-
- ファンドは、特定の業種・テーマに絞った銘柄選定を行いますので、市場全体の動きとファンドの基準価額の動きが大きく異なることがあります。また、市場環境、金利および経済・法制度・金融面の諸情勢が、特定の業種・テーマに対して著しい影響を及ぼすことがあります。当該業種・テーマに属する銘柄は、これら的情勢等に対して同様の反応を示すことがあります。
 - ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てる必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性、換金申込みの受け付けが中止となる可能性、既に受け付けた換金申込みが取り消しとなる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性等があります。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント Be Active.

グローバル創薬関連株式ファンド

【投信協会商品分類】追加型投信／内外／株式

作成基準日：2025年06月30日

お申込みメモ

購入単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

購入価額

購入申込受付日の翌営業日の基準価額

購入代金

販売会社の定める期日までにお支払いください。

換金単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

換金価額

換金申込受付日の翌営業日の基準価額

換金代金

原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目からお支払いします。

信託期間

2031年11月10日まで（2021年11月12日設定）

決算日

毎年11月10日（休業日の場合は翌営業日）

収益分配

決算日に、分配方針に基づき分配金額を決定します。委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

分配金受取りコース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、決算日から起算して5営業日目までにお支払いいたします。

分配金自動再投資コース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、無手数料で再投資いたします。

※販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。

課税関係

- 課税上は株式投資信託として取り扱われます。
- 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に限りNISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。
- 当ファンドは、NISAの対象ではありません。
- 配当控除および益金不算入制度の適用はありません。

お申込不可日

以下のいずれかに当たる場合には、購入・換金のお申込みを受け付けません。

- ルクセンブルグの銀行の休業日
- ルクセンブルグの銀行の休業日の前営業日
- ニューヨークの銀行の休業日
- ニューヨークの取引所の休業日

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント Be Active.

グローバル創薬関連株式ファンド

【投信協会商品分類】追加型投信／内外／株式

作成基準日：2025年06月30日

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

○ 購入時手数料

購入価額に3.30%（税抜き3.00%）を上限として、販売会社毎に定める手数料率を乗じた額です。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

○ 信託財産留保額

ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

○ 運用管理費用（信託報酬）

ファンドの純資産総額に年1.232%（税抜き1.12%）の率を乗じた額です。

※投資対象とする投資信託の運用管理費用を含めた場合、年1.932%（税抜き1.82%）程度となります。ただし、投資対象とする投資信託の運用管理費用は、料率が把握できる費用の合計であり、上記以外の費用がかかる場合があります。

また、年間最低報酬額や取引ごとにかかる費用等が定められている場合があるため、純資産総額の規模や取引頻度等によっては、上記の料率を上回る場合があります。

上記の料率は、2024年11月末現在で知り得る情報に基づくものであり、今後、変更される場合があります。

○ その他の費用・手数料

以下のその他の費用・手数料について信託財産からご負担いただきます。

●監査法人等に支払われるファンドの監査費用

●有価証券の売買時に発生する売買委託手数料

●資産を外国で保管する場合の費用 等

※上記の費用等については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※ 上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

税金

分配時

所得税及び地方税 配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%

換金（解約）及び償還時

所得税及び地方税 譲渡所得として課税 換金（解約）時及び償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%

※ 個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。法人の場合は上記とは異なります。

※ 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※ 税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント Be Active.

グローバル創薬関連株式ファンド

【投信協会商品分類】追加型投信／内外／株式

作成基準日：2025年06月30日

委託会社・その他の関係法人等

委託会社

ファンドの運用の指図等を行います。

三井住友DSアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号

加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、

一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ホームページ：<https://www.smd-am.co.jp>

コールセンター：0120-88-2976 [受付時間] 午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）

受託会社

ファンドの財産の保管および管理等を行います。

三井住友信託銀行株式会社

販売会社

ファンドの募集の取扱い及び解約お申込の受付等を行います。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント Be Active.

グローバル創薬関連株式ファンド

【投信協会商品分類】追加型投信／内外／株式

作成基準日：2025年06月30日

販売会社

販売会社名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会	一般投資顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会	備考
東洋証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第121号	○	○					

当資料のご利用にあたっての注意事項

- 当資料は、三井住友DSアセットマネジメントが作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、将来に關し述べられた運用方針・市場見通しも変更されることがあります。当資料は三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 投資信託は、値動きのある証券（外国証券には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。
- 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 当ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）および契約締結前交付書面等の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等は販売会社にご請求ください。また、当資料に投資信託説明書（交付目論見書）と異なる内容が存在した場合は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）が優先します。

■設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント Be Active.